

不屈

~ You are not alone. ~

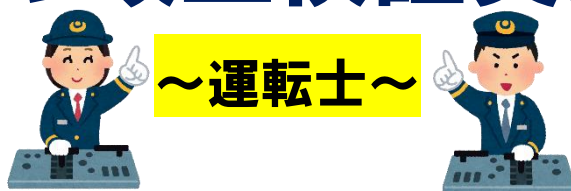


JTSU-E 勝田運輸区分会

2023/10/01 No.030

発行責任者 田口征司

2023年ダイヤ改正検証交渉について①



1項 B201 行路及び B202 行路の食事時間を確保するため行路を見直すこと。

→会社回答：現行で理解されたい。

- 根拠として、今改正で宇都宮運輸区との調整を図り5分の拡大をした。
- 会社としての食事時間の認識は「取れる所で取っていただく」
- 今回 B201 行路については3度目の申入れであり、会社としても課題であることを改めて確認。
- 食事時間の確保は必要であり、拡大できることは改善していくことを改めて確認。
- 車両運用一つ変われば変化はある。前向きに進めていく。

2項 安全性確保の観点から、B212 行路の回 625M~625M の停車時分を拡大すること。

→会社回答：現行で理解されたい。

- 土浦の停車時分が3分となった根拠について、輸送体系の調整により3分という時間になった。
- 機器整備について、会社は3分で足りると判断したが、出来なければ4分、5分に延ばす考えはある。
- 会社は貨物列車(2095列車)の入替えにより土浦の到着が遅れることは把握していたが詳細までは把握していない。
- 会社としては解消に向けて取り組んでいく。
- 安全性確保の為に、機器整備については時間を気にせず確実に作業をやっていただきたい。

3項 安全性確保の観点から、B212 行路の 646M を青出区とすること。

→会社回答：現行で理解されたい。

- B214 行路に入出区を検討したが、他と持ち替えが出来なかったため現行案で理解されたいと回答した。
- 24M~646M 土浦入区まで9分という時間は短いと感じたが、会社として行路設定上出来ると判断した。
- 遅延時には出区点検や出区後に乗継ぎになったこともあるが、そのような異常時の調整を行うことはある。構内は現状持てる余裕はない。
- 今回は調整できなかったが、入出区関係は構内含めて調整は図っていく。

車掌は次号へ